

みんなで磨く！みんなでカケル！ 魅力づくり予算

☎ 財政課 ☎ 0538-37-4883 ファク 0538-36-8954

予算とは、1年間の収入と支出をあらかじめ見積もることです。4月から始まる新年度を前に市議会で議決し決められています。年度内に行われる事業は、この予算に沿って執行されていきます。直面するさまざまな変化にしなやかに対応し、「安心できるまち！共に創ろう魅力ある磐田」を目指す本年度の予算の概要を紹介します。

※「カケル」には、磐田にある魅力を「掛け合わせ」、明るい未来へみんなで「駆け上がる」という思いを込めています

令和 8 年度予算基本目標

安心できるまち！共に創ろう魅力ある磐田

予算規模の概要

会計名	予算額	前年度比
一般会計	771億9,000万円	↓ 11.2%
特別会計 (国民健康保険・介護保険など)	333億8,170万円	↑ 2.5%
企業会計 (水道・下水道・病院)	415億5,845万円	↑ 4.9%
合計	1,521億3,014万円	↓ 4.4%

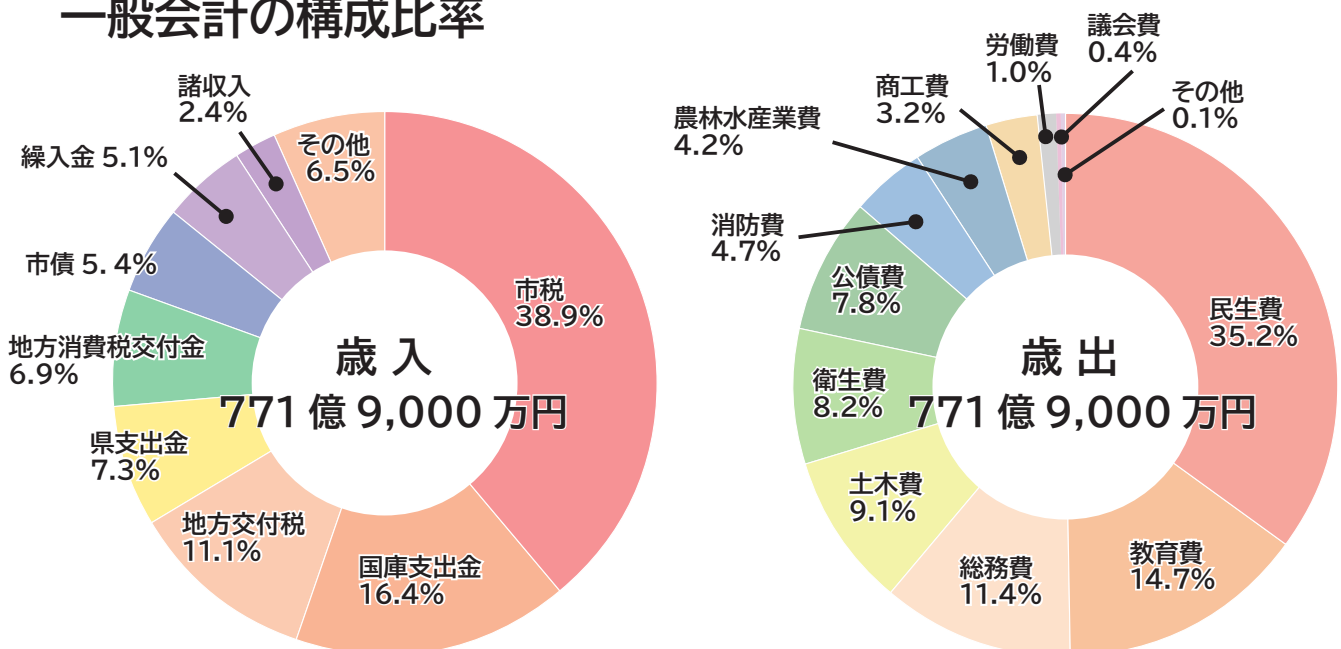
一般会計は、プレミアム商品券事業などの物価高騰に伴う経済対策事業の計上があるものの、海岸堤防や向陽学府小中一体校の整備事業の普通建設事業費の大幅な減により、減額となりました。

特別会計は、高齢者人口の増などに伴う給付費の増加による介護保険事業特別会計の増などにより、増額となりました。

企業会計は、人件費や材料費の増などによる病院事業会計の増などにより、増額となりました。

※四捨五入による端数処理のため、各区分の数値を合計した場合、合計数値と一致しない場合があります

一般会計の構成比率



3つの重点戦略

多様な立場の方が「学びと対話」を通じて関わり合い、人が集まるまちを共に創り出すため、3つの重点戦略を掲げています。

🤝 活力ある地域経済の「共創」

多様な業種の企業誘致やスタートアップ支援、新たな産業用地の確保を図るとともに、農林水産業を含めた既存産業の育成・支援など、地域経済の持続的な成長と雇用を創出し、若者や女性に選ばれる魅力的なまちを目指します。

🏠 誰もが幸せに暮らせる社会の「共創」

子どもや高齢者、障がい者など、多様な方々のライフステージに応じた包括的な支援を充実させるとともに、生涯を通じた学びと健康づくりを促進し、多世代が交流し支え合うことで、誰もが安心して暮らせる社会を目指します。

🌿 緑・環境・にぎわいの「共創」

美しい自然環境と調和した緑豊かな環境を維持し次世代へ残すため、グリーンインフラの整備やカーボンニュートラルを推進するとともに、スポーツ・文化を生かしたにぎわいを創出することで、住む人も訪れる人も魅力を感じられるまちを目指します。

🤝 活力ある地域経済の「共創」

人や企業が出会う起点づくり

姉妹都市フィリピン共和国ダグパン市との産業人材交流 201万7千円
中小企業の労働力不足の解消を図るため、産学官金連携、地域共創による海外人材の確保を目指します。

姉妹都市マウンテンビュー市における産業交流 663万1千円
市内企業などと共に産業交流や現地企業とのネットワーク構築を行います。

挑戦を後押しする仕組みづくり

中小企業等×スタートアップ企業の協業事業への支援
磐田版オープンイノベーションを強化 1,400万円
市と産業イノベーションマネージャーとの連携により中小企業などとスタートアップ企業による新たな協業事業に対する補助を行います。

遊休不動産を舞台にリノベーションスクールを開催 762万6千円
中心市街地に実在する遊休不動産を舞台に、未来の民間プレーヤー、不動産オーナー、行政が一堂に会し、ビジネスプランを創り出す短期集中の実践型スクールを開催します。

地域の強みをさらに発展させる仕掛け

磐田産茶葉を海外へ展開 300万円
海外販路の拡大に取り組む生産者などに対し、静岡県と協調した補助を行います。

新磐田 SIC 周辺の更なる産業用地の拡大 856万9千円
新磐田スマートインターチェンジ周辺における産業用地の開発の可能性を調査します。



▲産業交流（イメージ）



▲リノベーションスクール（イメージ）



▲磐田の茶園



誰もが幸せに暮らせる社会の「共創」

健康で自分らしく生きる ～健康寿命県内1位を目指す～

若者世代も含めた健康へのきっかけづくり 207万2千円

産官学で連携して、レシピや運動メニューを開発し SNS などで発信します。
また、企業や飲食店などとの共創により、市民一人一人の健康への関心を高め、行動や習慣の見直しにつながるような取り組みを推進します。

安心して子どもを育み学びあう

こども誰でも通園制度の開始 422万4千円

生後6ヶ月から満3歳未満までの保育所などに通所していない子どもを対象に乳児等通園支援事業を開始します。

健やかに成長する

向陽学府小中一体校の開校 14億1,339万8千円

スクールバスの運行を開始し、付属施設や駐車場などを整備します。

はまぼう学府小中一体校の基本構想策定 615万8千円

地域との共創による基本構想策定に着手します。

尊重しいえあう

ひとり親就労専門相談員の配置 442万7千円

ひとり親の不就業や離職を防ぐための支援計画の作成やハローワークへの同行、就職後のフォローなどの伴走支援を実施します。



▲こども誰でも通園制度 (イメージ)



▲向陽学府小中一体校



▲ひとり親就労専門相談 (イメージ)



緑・環境・にぎわいの「共創」

自然と共生する緑豊かなまちづくり ～グリーンインフラの推進～

さくら百年プロジェクト 100万円

地域や事業者などとの共創によりさくらの植樹を推進し、100年後の未来に人々の想いや物語、緑豊かな風景を継承します。

にぎわいを紡ぐ

姉妹都市提携50周年記念 ～友好の絆を未来へ～ 240万円

マウンテンビュー市・ダグパン市を招き、記念式典などの開催を通し姉妹都市交流の新たな価値を創出します。

観光基本計画の策定 291万円5千円

市の特性や資源を生かした魅力ある観光施策・地域づくりを推進する中長期的な指針となる計画策定に向けた基礎調査や基本方針の検討を行います。

ウォーキングフットボールの全国大会を開催 157万円5千円

年齢、性別、障がいの有無にかかわらず誰でも楽しめるインクルーシブスポーツウォーキングフットボールの全国大会をさまざまな関係者と共創して開催します。

未来のビジョンを描く

竜洋海洋公園の再整備に向けた基本構想の策定 2,523万8千円

公園全体の再整備に向けて民間活力を導入した新たな公園整備手法の可能性を調査します。

旧市民文化会館等跡地の利活用 2,204万4千円

官民連携導入調査を実施し、事業者公募資料を作成します。



▲さくら並木



▲竜洋海洋公園



▲旧市民文化会館等跡地

その他の新規・拡充事業

物価高の影響を受けている市民と事業者を支援

プレミアム商品券事業 12億円 ※

プレミアム分 5,000 円× 20 万口（紙商品券 10 万冊 電子商品券 10 万口）を発行します。令和8年8月からの使用開始を予定しています。

小中学校給食費 保護者負担の軽減 7,895 万 2 千円 ※

令和8年度の小中学校給食費について、小学校は公費負担により無償とし、中学校は一部を公費負担とすることで、これまでの保護者負担額を維持します。

保育園等給食費 保護者負担の軽減 6,516 万 1 千円 ※

令和8年度の公立園給食費について、保育園・こども園・幼稚園の給食費増額分を公費負担とし、これまでの保護者負担額を維持します。民間保育園・こども園・幼稚園などは、給食運営のための支援金を交付します。

※国の交付金を活用して実施します



▲プレミアム商品券（イメージ）



▲こども園 給食

防災・減災・消防

津波避難タワーの環境改善 396 万円

津波避難タワーに日よけシートを配備します。

避難所「水の確保」事業 196 万 2 千円

指定避難所の浅井戸に手押しポンプを設置します。

静岡県総合防災訓練の実施 4,000 万円

大規模地震を想定し、静岡県、磐田市、袋井市、森町が共同で防災訓練を実施します。

新消防庁舎の整備 7億4,472 万 2 千円

防災拠点施設となる新消防庁舎の整備を行い、さらなる消防力の充実・強化を図ります。



▲津波避難タワー



▲防災訓練

次の時代へ ～共創で描くまちのビジョン～

令和8年度は、市の最上位計画である第3次総合計画など、将来のまちづくりの方向性や目標を定めるさまざまな計画策定や調査を市民・事業者・各種団体と共創で取り組みます。

第3次磐田市総合計画の策定（令和9年3月完成予定）

計画期間：令和9年度～令和16年度

策定予定の計画（一部抜粋）

- 磐田市観光基本計画
- 磐田北小学校改築基本構想・基本計画
- はまぼう学府小中一体校基本構想・基本計画
- 磐田市重層的支援体制整備計画
- 磐田市都市計画マスタープラン